



## ごあいさつ

常務取締役 寺本幸文

日頃より、当社製品をご愛顧賜りまして厚く御礼申し上げます。

本年2020年度は、2016年度からスタートしました当社グループの中長期計画「VISION2020」の最終年度となります。当社グループはこの間、「社会と産業の基盤を支える企業活動を通じて、環境と調和し活力ある社会の実現に貢献」するとの企業理念のもとに、市場動向やお客様のニーズに合った製品・サービスの開発と市場投入に取り組んでまいりました。

主なものとして、電力機器の分野では、電力システム改革の進展や環境意識の向上に対応し、ハードの技術に機器やエネルギーを制御するソフトの技術を融合させて様々なソリューションを提供するSPSS（スマート電力供給システム）や大規模風力発電用の系統連系機器などの拡販を進めました。また、イオン注入の分野では、高精細・中小型フラットパネルディスプレイ製造用装置の性能向上を進め、SiCパワーデバイス用など新たな装置を市場に投入しました。納入設備の据付工事・保守点検・設備診断・更新提案を行うライフサイクルエンジニアリング事業において、IoT、AI技術の活用を推進し、加えて高度な金属加工、溶接などの技術をベースとする産業用装置部品の製造受託事業を新たなセグメントに育成すべく、事業規模の拡大を図っております。

足元では新型コロナウイルス感染が拡大し、また大規模な自然災害が頻繁に起こり、米中貿易摩擦など政治経済面の不透明性も一層増す状況にあります。

当社グループとしては、成長の原動力となる人材を育成するため、昨年4月に「日新アカデミー研修センター」を開所し、高度技術者・技能者を育成するなど将来を見据えた投資を積極的に行いました。また、冒頭に記載しました企業理念の実現により、SDGsやESGが目的とする持続可能な社会に向け、種々の課題の解決に引き続き取り組んでまいりたいと考えております。

今回の技報では、「2019年の技術と成果」を特集するとともに、一般論文として次のテーマを掲載いたしました。ご覧いただきました皆様から、忌憚のないご意見を賜ることができましたら誠に幸甚でございます。

- ①「直流配電システムの開発」
- ②「半導体直流遮断器の開発」
- ③「絶縁型双方向DC-DCコンバータの開発」
- ④「水処理施設向け監視制御システムの開発」
- ⑤「自動車エンジン部品用 DLC膜「HC-DLC」の開発」
- ⑥「倒立形変流器の再開発」

最後になりましたが、皆様のますますのご発展をお祈りし、巻頭のご挨拶とさせていただきます。